

令和 5 年 6 月 11 日現在

機関番号：32682

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19H03065

研究課題名(和文)「田園回帰」の社会経済的総合分析

研究課題名(英文)The comprehensive research on socioeconomic situation of 'Counter Urbanization'

研究代表者

小田切 徳美(Odagiri, Tokumi)

明治大学・農学部・専任教授

研究者番号：10201998

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文)：小田切が提唱してきた田園回帰について多様な分野から多角的に接近した。理論的には近年のネオ内発的発展論やcommons論、社会連帯経済論を援用した田園回帰の意義の検討がなされ、都市からの農村移住の系譜や緑のふるさと協力隊の経験、地域おこし協力隊退任者の追跡調査などの長期的な視点からの検証や、なりわいや農村起業、コミュニティビジネスのケーススタディによる課題の抽出、ワークショップやアクションリサーチなどの現場でのより実践的な方法論、自治体や国土レベルでの政策に対する含意がその主なものである。これらを通して新たに構築されるべき具体的な政策課題の枠組みが検討された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

人口縮小過程にある日本における喫緊の課題である地域存続の課題に対し、研究代表者の小田切は田園回帰を提唱してきた。田園回帰は農村への人口移動にとどまらない社会全体の農村への関心の高まりに関する概念であり、新たな都市農村関係の創出と関連する社会経済的变化を表す用語である。今日では国土政策をはじめとする地域関連政策の鍵概念として日本社会に新たな展望を切り拓くことが期待されている。本研究では田園回帰に関心と共感をもつ多様な分野の研究者が多角的に田園回帰に接近した。小田切編著2022をはじめ各研究分野での成果報告が現代日本農村に対する理解と実践的課題を明らかにし、社会的関心を喚起するのにも貢献した。

研究成果の概要(英文)：We approached returning to the countryside(originally Odagiri's idea) of from various perspectives. Theoretically, the significance of returning to the countryside is examined with the help of recent neo-endogenous development theory, commons theory, and social solidarity economics theory. Verification from a long-term perspective such as follow-up surveys of retired corps members, extraction of case studies issues from livelihoods-nariwai, rural entrepreneurship, and community business, more practical methodologies in the field such as workshops and action research. The main implications for policies at the national level and local governments, and the framework of specific policy issues to be newly constructed was considered.

研究分野：農村政策論

キーワード：田園回帰 農村移住 逆都市化 農村構造 農村政策 関係人口 なりわい 起業

1. 研究開始当初の背景

「田園回帰」と言われる，都市部の生活者による農山村（漁村，離島を含む，以下同じ）への幅広い関心の広がりや，都市部から農山村への移住をめぐっては，既に，農業経済学分野，農村計画学分野，農村地理学でそれぞれの視角からの分析が数多く行われている（小田切・筒井 2016 参照）．他方，政策的にも，地方創生の下，移住支援策や関係人口などの具体策が本格的に展開している．その意味で，この領域では，実態分析から政策や実践の段階へと重心が移り始めている．にもかかわらず，従来の研究には次のような不十分な点がある．

特定地域の事例研究が中心で，全国レベルの課題に向けた研究が著しく少ない．
それぞれの分野の研究に相互の連携がなく，「田園回帰」の全体像の把握に至っていない．
これらを踏まえた新しい地域像を検討すべき枠組みが提示されていない．

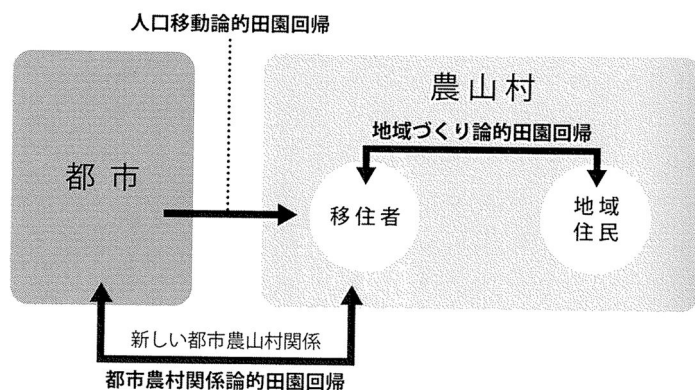
より具体的には，の点については，一部では国勢調査や住民基本台帳等の統計分析が行われているが，移住者の属性や動機，移住プロセスまでを含めた分析とはなっていない．また，の点は，特に，移住者にとって重要な仕事や地域との関係，さらには移住者を受け入れた地域自身の特性やその後の変化等を踏まえた田園回帰の全体像を結ぶに至っていない．これらを踏まえた統合的な地域政策の枠組みと方法の提示が求められている．

2. 研究の目的

本研究は，近年，注目されている都市から農山村への移住を意味する「田園回帰」について，社会経済的な総合分析を行うことを目的としてスタートした．本研究の成果を移住に関する政策や制度として，国や地方自治体へ政策提言することを目的の1つとすることは堅持しつつも，コロナ禍の影響下で当初の具体的な研究計画については，一部変更して各自が実施可能な調査を模索しながら進めざるを得なかった面もあった．

当初は，若者を中心とする農山村移住の実態，プロセス，課題を総合的に明らかにすることを目的としていた．しかし徐々に，田園回帰をめぐる基礎的な用語，概念を整理し，関連する社会

図序-3 本書における「田園回帰」の位置づけ（三つの局面）



科学理論を参照して考察することへと重点を移し，そのうえで小田切・筒井 2016 による田園回帰の枠組み（左図）に示されるような，地域づくりの現場における実態や住民と移住者との間の関係性，農村における起業などを主要な課題として設定し直し，それらの進捗状況を確認しつつ随時調整をしながら，農村をめぐる地域政策論への展開を図ることによって，政策的インプリケーションを獲得することを目指して研究を推進した．

図 田園回帰の枠組み

3. 研究の方法

上記の目的へと接近するために，本研究では次のような学術的な「問い」を設定した．

田園回帰は，社会科学にどのような現象として把握することが可能であり，また社会の全体像への展望を拓き得るかを（田園回帰に関する統計的・理論的な検討），数量的な実態把握についての独自のアンケート調査（地域おこし協力隊の悉皆調査）により，隊員の詳細な属性と田園回帰との関連さらに田園回帰が「なりわい」の創出や「コミュニティ」の持続化に与える効果の解明を試みる．また社会連帯経済論やネオ内発的発展論，コモンズ論などを参照した田園回帰に関連する検討を行う．現代における田園回帰を現象としてどのように位置づけることができるかについて（田園回帰の経験や歴史的位置），これまでの田園回帰に関連する現象に関する実態について継続的に移住推進政策を進めてきた事例の経過と現状，都市住民の農村への移住によるコミュニティづくりの系譜から探求する．移住者は地域づくりにおいてどのような位置を占めるかについて（移住者と地域住民との関係），今日の農村移住において移住者たちが従来からの農村居住者たちとどのように関係を切り結ぶかという観点から明らかにする．地域の仕事と移住者がもたらす新たな関係性による継承について（農村起業・なりわい），移住者はどのように仕事を確保し，それを通じてどのように地域との関係性を構築するのかを明らかにす

る。さらに、田園回帰をめぐる地域づくりに求められる方法論はどのようなものか(地域づくり方法論)の検討を踏まえ、田園回帰を考慮することによって得られる農業・農村政策への新たな視座を検討し(国土視点での農業・農村政策)提示する。

これらのアプローチの相互関係によって田園回帰の立体像の解明を目指す真の総合研究を実現する。そのために、農業経済学を中心としつつも、社会学、農村地理学、農林業地理学、農村計画学、農業土木学、地域経済学、行政学と幅広い分野から参画したメンバーは相互に協力し、異分野間の結合がもたらす革新的研究の創造を図った。さらに、実態に精通した実務家(地方自治体関係者、中間支援組織、ジャーナリスト)を交えた研究会を実施し、研究の節目における研究報告に対する意見や評価を得た。これにより、コロナ禍にあっても豊富な実践経験の裏付けを得て研究を推進することを可能とした。

4. 研究成果

小田切が提唱してきた田園回帰について多様な分野から多角的に接近した。理論的には田園回帰の意義について近年のネオ内発的発展論やコモンズ論、社会連帯経済論を援用した検討がなされ、都市からの農村移住の系譜や緑のふるさと協力隊の経験、地域おこし協力隊退任者の追跡調査などの長期的な視点からの検証や、なりわいや農村起業、コミュニティビジネスのケーススタディによる課題の抽出、ワークショップやアクションリサーチなどの現場でのより実践的な方法論、自治体や国土レベルでの政策に対する含意がその主なものである。これらを通して新たに構築されるべき具体的な政策課題の枠組みが検討された。

具体的な研究成果は、以下の通りである。

田園回帰に関する理論的な検討：「資本主義、連帯経済、そして「田園回帰」(立見)」、「資本主義、連帯経済、そして「田園回帰」(立見)、社会連帯経済論のフランスにおける実態を著わした『社会連帯経済と都市』(立見ほか編)、**長期的な地域づくりの展開**：「農業水利施設高度利用事業の導入を契機とした住民主導型まちづくりの世代交代に関する研究(中島ほか)、**移住者と地域住民との関係**：「コロナ禍における雪かきボランティア」(筒井ほか)、**農村起業**：“Residents’ Awareness of Inbound Tourism in Rural Community in Japan: Case Study on Tambasayama City, Hyogo Prefecture”(Nakajimaほか)、「中山間地域における起業促進の支援システム」(中塚ほか)、「農村移住者による起業の地理的立地条件」(中塚ほか)、「農山村における移住起業のサポート実態」(立見・筒井ほか)、「農村女性起業 20年目の飛躍」(平井)、「ウェブ調査からみた現代日本における農林水産業と多業」(平井)、「農村移住起業者の意向にみる集積形成のメカニズム」(中塚ほか)、**地域づくり方法論**：「ワークショップにおける「参加の実質化」をめぐる」(平井)、本共同研究分担者らが中心となった農村計画学会シンポジウム「地元人材育成からの地方創生」(分担者多数参加)、地域での実践活動の手引きとなる『若者を地域の仲間！秘訣をつかむハンドブック』(筒井ほか編)、「地域づくりワークショップ研究における対話主体と主題の特徴」(筒井ほか) **国土視点での農業・農村政策**：「食料・農業・農村基本計画と農村地域政策」(筒井)、「関係人口」とは何か」(平井)、「都市農村対流時代に向けた地方分散シナリオの展望」(関司)、「曲がり角にきた地域おこし協力隊制度」(平井)、「関係人口を介した意識と実践の転換」(平井)、「里山と田園回帰」(筒井ほか)、「農山村消滅の危機」は本当か!?(筒井)、「Prospects for a Decentralization Scenario in the Era of Urban-Rural Multidimensional Circulation」(Zushi)、さらに代表者小田切が日本の農村政策の軌跡をたどり、今日の関係人口論からポストコロナへの展望を示した『農村政策の変貌』(小田切)を発表した。

そして、研究協力者も含むメンバー全員によるこれらの成果の多くが盛り込まれた『新しい地域をつくる』(小田切編)を刊行した。地域発展理論(立見)、人材(中塚)、しごと(筒井)、コミュニティ(平井)、地域資源利用・管理(中島)、人の流れ(嵩)、再生プロセス(関司)、政策(嶋田)、国土(中川)の各章と、鍵となる概念・用語の解説(橋口)や地域の実態(尾原)、自治体政策の現場(小野)のコラムによって、地域の現在と未来への展望を多角的に検討したうえで、編者である小田切が内発的発展論の具体化として日本における地域づくりの現段階を整理し、その展望を示した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計91件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 41件）

1. 著者名 中川 秀一	4. 巻 25
2. 論文標題 大都市圏近接山村の集团的所有林野の管理について - 岐阜県旧上石津町における財産区を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 地域政策研究 = STUDIES OF REGIONAL POLICY	6. 最初と最後の頁 61 ~ 82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20635/00001303	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 分権改革の成果を活かすには？	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 自治体学	6. 最初と最後の頁 26 ~ 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井 一伸	4. 巻 30
2. 論文標題 地域運営組織と新しいコミュニティ 期待される機能と担い手の射程	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本地域政策研究	6. 最初と最後の頁 92 ~ 97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32186/ncs.30.0_92	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 41(1)
2. 論文標題 農業集落調査と社会学のインタラクション	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 171 ~ 174
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 15
2. 論文標題 社会調査は自治体計画とどうともあり得るか	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市政策研究	6. 最初と最後の頁 35～52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川秀一	4. 巻 55(4)
2. 論文標題 日本におけるコモンズ論に関する文献の整理 - 多様な展開の理解のための覚え書き -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 法政理論	6. 最初と最後の頁 92～110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 113(3)
2. 論文標題 継業がつくる農山村の未来	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 15～20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 立見淳哉	4. 巻 116
2. 論文標題 地域経済振興と社会連帯経済への期待	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 おおさかの住民と自治	6. 最初と最後の頁 14～19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 463
2. 論文標題 中山間地域等直接支払制度の未来	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Agrio	6. 最初と最後の頁 2~5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatemi Junya	4. 巻 74
2. 論文標題 2021 Annual Review?Economic Geography	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Human Geography	6. 最初と最後の頁 235 ~ 241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4200/jjhg.74.03_235	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田 暁文	4. 巻 77
2. 論文標題 公契約条例をめぐる多面的検討～諸論点の体系的考察～	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地方自治ふくおか	6. 最初と最後の頁 57 ~ 96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32232/chihoujichifukuoka.77.0_57	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田 暁文	4. 巻 76
2. 論文標題 公共施設マネジメントに求められる基本的思考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地方自治ふくおか	6. 最初と最後の頁 35 ~ 77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32232/chihoujichifukuoka.76.0_35	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関司直也	4. 巻 88(3)
2. 論文標題 農山村政策のこれまでとこれから - 新「食料・農業・農村基本計画」のねらいと実現プロセスを考える	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 季刊農業と経済	6. 最初と最後の頁 115 ~ 123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2022年12月号
2. 論文標題 分権改革・自治体職員の働き方・住民参加 - 三つの連関に着目して -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 あいち分権通信	6. 最初と最後の頁 1 ~ 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dilley Luke, Gkartzios Menelaos, Odagiri Tokumi	4. 巻 125
2. 論文標題 Developing counterurbanisation: Making sense of rural mobility and governance in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Habitat International	6. 最初と最後の頁 102595 ~ 102595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.habitatint.2022.102595	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2022年8月号
2. 論文標題 小規模自治体の「小規模性」と職員のモチベーション	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 26 ~ 28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Yukiho, Nakatsuka Masaya	4. 巻 58
2. 論文標題 Elements for Encouraging Non-Residents to Maintain Collaboration with Residents in Rural Communities: A Case Study on Kumadani, Echizen Town, Fukui Prefecture	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Rural Problems	6. 最初と最後の頁 67 ~ 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.58.67	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 関司直也	4. 巻 64(751)
2. 論文標題 共感の相互交流を生む 関係人口	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊自治研	6. 最初と最後の頁 16 ~ 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小西信義・筒井一伸	4. 巻 37
2. 論文標題 コロナ禍における雪かきボランティア - 受入の意向に関するアンケート調査結果 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本雪工学会誌	6. 最初と最後の頁 64 ~ 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 54
2. 論文標題 「関係人口」とは何か	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市学会年報	6. 最初と最後の頁 149 ~ 158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷川智穂・中塚雅也	4. 巻 57(2)
2. 論文標題 農村移住起業者の意向にみる集積形成のメカニズム：丹波篠山市福住地区を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 83～89
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.7310/arfe.57.83	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 52(7)
2. 論文標題 「農山村消滅の危機」は本当か!? - 都会vs田舎の構図を超えた先に -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 望星	6. 最初と最後の頁 19～27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 11
2. 論文標題 ウェブ調査からみた現代日本における農林水産業と多業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文社会科学論叢	6. 最初と最後の頁 173～197
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2021年8月号
2. 論文標題 持続可能な地域公共交通の実現のために - 見えてきたさまざまな問題点と自治体に求められる取組み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 自治実務セミナー	6. 最初と最後の頁 10～17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 93(2)
2. 論文標題 ポスト・コロナ社会における農村の持続性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 159 ~ 171
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.93.159	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 67(3)
2. 論文標題 書評 立見淳哉・長尾謙吉・三浦純一編『社会連帯経済と都市 - フランス・リールの挑戦 - 』ナカニシヤ出版	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 195 ~ 199
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20592/jaeg.67.3_195	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2021年10月号
2. 論文標題 計画策定等の(実質的)義務付けと地方分権	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 29 ~ 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸・渡辺理絵	4. 巻 66(10)
2. 論文標題 里山と田園回帰 - 関係をひらく「ふるさと資源」試論 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 46 ~ 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野朋美・嶋田暁文・高見具広・広井良典・瀬田史彦	4. 巻 2021年11月号
2. 論文標題 (パネルディスカッション)あらたな『均衡ある発展』を考える - 東京圏一極集中を超えて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 20~48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 213
2. 論文標題 「野生の思考」の実践~今、自治体職員に求められるもの~	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 市政研究	6. 最初と最後の頁 6~16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸・小西信義・尾原浩子	4. 巻 31
2. 論文標題 農業除雪を考える - 北海道における調査結果から -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JCA研究レポート	6. 最初と最後の頁 1~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Dilley Luke, Gkartzios Menelaos, Odagiri Tokumi	4. 巻 125
2. 論文標題 Developing counterurbanisation: Making sense of rural mobility and governance in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Habitat International	6. 最初と最後の頁 102595~102595
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.habitatint.2022.102595	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2022年2月号
2. 論文標題 「対等」と「協力」関係の将来展望～求められる「国と地方の協議の場」の機能化～	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 35～37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長尾謙吉・立見淳哉	4. 巻 1
2. 論文標題 持続可能なローカリティ研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 21世紀における持続可能な経済社会の創造に向けて	6. 最初と最後の頁 9～8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 24
2. 論文標題 Sustainability of Rural Areas in a Post Covid-19 Era	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Agricultural Economics	6. 最初と最後の頁 22～24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 立見淳哉・山本泰三	4. 巻 40(1-4)
2. 論文標題 価値と価値づけの理論的検討 - コンヴァンション経済学における展開 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 季刊経済研究	6. 最初と最後の頁 48～66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24544/ocu.20220329-003	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 113(3)
2. 論文標題 移住者と受入地域に立脚した移住促進へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 21～22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2022年3月号
2. 論文標題 『農村・農山村での暮らし』を継続させるには? ~ 困難な状況を乗り越えるための創意工夫 ~	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 4～14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 筒井一伸	4. 巻 73(4)
2. 論文標題 書評 田中輝美著『関係人口の社会学 人口減少時代の地域再生』大阪大学出版会	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 496～497
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4200/jjhg.73.04_496	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 73
2. 論文標題 茶の湯の可能性～ 分断・排除・対立の時代の中で～	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地方自治ふくおか	6. 最初と最後の頁 48～59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32232/chihoujichifukuoka.73.0_48	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 東根ちよ・長曾我部まどか・筒井一伸	4. 巻 27
2. 論文標題 地域づくりワークショップ研究における対話主体と主題の特徴 - 計量テキスト分析を用いて -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本地域政策研究	6. 最初と最後の頁 80～89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32186/ncs.27.0_80	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2020年4月号
2. 論文標題 地方分権一括法から20年、自治体の法運用は変わったのか？	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 23～25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大田康博・立見淳哉	4. 巻 71(1)
2. 論文標題 社会的企業の事業活動、企業形態、ガバナンス フランスの社会連帯経済を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 経営研究	6. 最初と最後の頁 65～87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24544/ocu.20200624-007	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 183
2. 論文標題 言い訳しない働き方～分権時代の自治体職員論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ネットワーク(マッセOSAKA機関紙)	6. 最初と最後の頁 8～9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中川秀一	4. 巻 1651
2. 論文標題 ルーラル (Rural) を見つめ直す	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 旬刊経理情報	6. 最初と最後の頁 1~1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井 太郎・ 曾我 亨	4. 巻 9
2. 論文標題 曲がり角にきた地域おこし協力隊制度	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 人文社会科学論叢	6. 最初と最後の頁 151~176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 67
2. 論文標題 自治体職員の働き方をめぐる近年の動き - 『様々なベクトルの合成』という視角からの考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 政策法務Facilitator	6. 最初と最後の頁 2~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 16
2. 論文標題 農村女性起業20年目の飛躍 (前編)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JCA研究レポート	6. 最初と最後の頁 1~13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 17
2. 論文標題 農村女性起業20年目の飛躍（後編）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 JCA研究レポート	6. 最初と最後の頁 1～11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 LI Ji, NAKATSUKA Masaya	4. 巻 28(3)
2. 論文標題 Residents' Awareness of Inbound Tourism in Rural Community in Japan: Case Study on Tambasayama City, Hyogo Prefecture	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pertanika Journal of Social Sciences & Humanities	6. 最初と最後の頁 1891～1907
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 171
2. 論文標題 臨床行政学の構想 - 行政学のレリバンス向上を求めて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊行政管理研究	6. 最初と最後の頁 4～20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 39(論文特集号)
2. 論文標題 ワークショップにおける「参加の実質化」をめぐる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 253～262
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.2750/arp.39.253	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima Masahiro, Nitta Masayuki	4. 巻 6
2. 論文標題 Reconstruction of a system for using and managing agricultural irrigation water stock through "critical succession"	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Impact	6. 最初と最後の頁 9~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21820/23987073.2020.6.9	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 49
2. 論文標題 関係人口を介した意識と実践の転換	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 政策金融公庫論集	6. 最初と最後の頁 61~87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小野満陽光・中島正裕・新田将之	4. 巻 39(論文特集号)
2. 論文標題 農業水利施設高度利用事業の導入を契機とした住民主導型まちづくりの世代交代に関する研究 滋賀県甲良町における「せせらぎ遊園のまちづくり」30年後の検証	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 210~221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.39.210	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中塚雅也・谷川智穂・井筒耕平	4. 巻 39(論文特集号)
2. 論文標題 中山間地域における起業促進の支援システム: 岡山県西粟倉村を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 238~244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.39.238	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 2020年12月号
2. 論文標題 自治体自治体職員のモチベーションとコロナ対応職員のモチベーションとコロナ対応	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 20～22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 関司直也	4. 巻 92(3)
2. 論文標題 都市農村対流時代に向けた地方分散シナリオの展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 253～261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.92.253	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷川 智穂・中塚 雅也	4. 巻 34
2. 論文標題 農村移住者による起業の地理的立地条件：兵庫県丹波篠山市を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 環境情報科学論文集	6. 最初と最後の頁 127～132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11492/ceispapers.ceis34.0_127	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 34(1)
2. 論文標題 自治体は何のために存在するのか？なぜ農山漁村は大事なのか？	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自治体学	6. 最初と最後の頁 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 87(3)
2. 論文標題 「民主主義のループモデル」の機能不全にどう向き合うべきか? - 「ポストモダン行政学」の問題提起	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 法政研究	6. 最初と最後の頁 675 ~ 699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Zushi Naoya	4. 巻 23
2. 論文標題 Prospects for a Decentralization Scenario in the Era of Urban-Rural Multidimensional Circulation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Agricultural Economics	6. 最初と最後の頁 53 ~ 56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18480/jjae.23.0_53	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 LI Ji, NAKATSUKA Masaya	4. 巻 23
2. 論文標題 Residents' Intentions and Willingness to Cooperate toward Starting Farm-Stay Businesses in Response to Inbound Tourism: A Case Study in Tamasasayama City, Hyogo Prefecture	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Agricultural Economics	6. 最初と最後の頁 107 ~ 112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18480/jjae.23.0_107	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村怜詞・宮地忠幸・久保田豊和・中島正裕・菊池雅彦・中川秀一・中塚雅也・筒井一伸	4. 巻 39(4)
2. 論文標題 地元人材育成からの地方創生	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 405 ~ 418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.39.405	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 立見淳哉	4. 巻 147
2. 論文標題 資本主義、連帯経済、そして「田園回帰」 - 『資本主義の新たな精神』を縦糸として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 iichiko	6. 最初と最後の頁 110 ~ 127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 215
2. 論文標題 ふるさと納税と地域づくり	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 97 ~ 99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 220
2. 論文標題 過疎地域の役割と新しい対策	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 14 ~ 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 27 (1)
2. 論文標題 関係人口と国土形成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 土地総合研究	6. 最初と最後の頁 19 ~ 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 67(9)
2. 論文標題 人口減・人材増の「にぎやかな過疎」を	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 AFCジャーナル	6. 最初と最後の頁 3~6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 632
2. 論文標題 「関係人口」の意味と意義	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域開発	6. 最初と最後の頁 1~4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田切徳美	4. 巻 86(3)
2. 論文標題 農村政策の空洞化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 107~113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川秀一	4. 巻 65(1)
2. 論文標題 「関係人口」からみた大学教育における地域フィールドワーク	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20592/jaeg.65.1_1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川秀一	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 学会展望 農村	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人文地理	6. 最初と最後の頁 279 ~ 281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo ICHIKAWA, Shuichi NAKAGAWA, Genevieve Florence OGAWA	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 Repopulation and Rural Life in the Jura Region, France: Case Study of Quintigny, Franche-Comt?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 258 ~ 270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4157/ejgeo.14.258	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川秀一	4. 巻 12
2. 論文標題 田園回帰とコモン化からみた入会林野の位相	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東日本入会・山村研究会報	6. 最初と最後の頁 3 ~ 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 69
2. 論文標題 「ふるさと納税」再考 その問題点と制度見直しを踏まえて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地方自治ふくおか	6. 最初と最後の頁 95 ~ 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 630
2. 論文標題 小規模自治体と圏域行政：自治と持続可能性の観点から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域開発	6. 最初と最後の頁 14～17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉 秀樹, 板垣 勝彦, 金井 利之, 阿部 昌樹, 磯崎 初仁, 内海 麻利, 北村 喜宣, 齋藤 純一, 嶋田 暁文, 名和田 是彦, 原島 良成, 村山 武彦	4. 巻 45(5)
2. 論文標題 合意形成研究会 縮減社会の合意形成：人口減少時代の空間制御と自治(上)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 自治総研	6. 最初と最後の頁 89～130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 52(6)
2. 論文標題 地域公共サービスと「価値」実現：移動サービスをめぐる現実	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 月刊地方自治職員研修	6. 最初と最後の頁 24～26
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉 秀樹, 板垣 勝彦, 金井 利之, 阿部 昌樹, 磯崎 初仁, 内海 麻利, 北村 喜宣, 齋藤 純一, 嶋田 暁文, 名和田 是彦, 原島 良成, 村山 武彦	4. 巻 45(6)
2. 論文標題 合意形成研究会 縮減社会の合意形成：人口減少時代の空間制御と自治(下)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 自治総研	6. 最初と最後の頁 59～91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 222
2. 論文標題 小規模自治体職員の「構想力」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 32～34
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 53(3)
2. 論文標題 「自分ごと」から始まる「自治」の実践：求められる「地域人」の輪の広がり	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 月刊地方自治職員研修	6. 最初と最後の頁 36～38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 嶋田暁文	4. 巻 228
2. 論文標題 地方分権一括法から20年、自治体の法運用は変わったのか？ 自治体職員のあり方・働き方を問い直す	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ガバナンス	6. 最初と最後の頁 23～25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋口卓也	4. 巻 86(2)
2. 論文標題 「日本型直接支払制度」の現状と展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業と経済	6. 最初と最後の頁 114～121
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木原奈穂子・中塚雅也	4. 巻 91(4)
2. 論文標題 地域における畦畔管理作業受託の実態と展開課題：兵庫県丹波篠山市を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 431～436
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 立見淳哉	4. 巻 1
2. 論文標題 イノベティブ・ミリュー概念の拡張 - 産業集積へのコンヴァンショナルリスト・アプローチ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ジオグラフィカ千里	6. 最初と最後の頁 9～30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumi SAKAI, Junya TATEMI, Kazunobu TSUTSUI	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 Support for Entrepreneurial Migration to Rural Areas:Example of Tamba City, Hyogo Prefecture	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 E-journal GEO	6. 最初と最後の頁 14～28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4157/ejgeo.15.14	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平井太郎	4. 巻 52
2. 論文標題 今、地域づくりワークショップで「参加」は如何にあるべきか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本都市学会年報	6. 最初と最後の頁 215～224
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 新田将之, 藤森拓人, 中島正裕, 大平充	4. 巻 38(3)
2. 論文標題 水環境整備の実施後30年が経過した農村地域における子どもの水遊びを支える水路環境に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 379 ~ 389
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴原良樹, 中島正裕	4. 巻 48(3)
2. 論文標題 地域おこし協力隊員と地域住民の間におけるインフォーマルな交流の阻害要因の解明	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 環境情報科学	6. 最初と最後の頁 99 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴原良樹, 竹内紗恵, 中島正裕	4. 巻 38
2. 論文標題 地域おこし協力隊員間の連携が任期中の活動に及ぼす影響 勤務形態の違いに着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農村計画学会誌論文特集号	6. 最初と最後の頁 283 ~ 291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計45件 (うち招待講演 17件 / うち国際学会 7件)

1. 発表者名 関司直也
2. 発表標題 都市農村対流時代に向けた農村政策の要点 - 地方分散シナリオを見据えて -
3. 学会等名 日本農業経済学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 農業集落調査と社会学のインタラクション
3. 学会等名 農村計画学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 社会学・者にとってのアクションリサーチ
3. 学会等名 日本社会学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Taro Hirai
2. 発表標題 New Rural Policy of 2020 Basic Plan for Food, Agriculture and Rural areas in Japan
3. 学会等名 The 10th ASEAN+3 Village Leaders Exchange Program（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 立見淳哉・山本泰三
2. 発表標題 立見・山本論文の骨子
3. 学会等名 地域経済学会「地域の価値」PJ研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 価値から価値づけへ - 「豊穡化の経済」と価値づけ形態 -
3. 学会等名 文化経済学会大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 新里早映・中島正裕
2. 発表標題 イングランド都市近郊農村の内発的地域づくりにおける移住者の地域愛着の醸成とその役割に関する研究 ノーサンバランド州ヘクサム地区を事例として
3. 学会等名 農村計画学会2021年度春期大会学術研究発表会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺理絵・筒井一伸
2. 発表標題 コミュニティを主体とした竹林の「ふるさと資源化」の動き - 山形県庄内地方の放任竹林問題を例に -
3. 学会等名 東北地理学会春季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 筒井一伸・渡辺理絵
2. 発表標題 「コミュニティ」の機能再編と資源活用 - 山形県鶴岡市三瀬地区を事例に -
3. 学会等名 2021年度地理科学学会春季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 嶋田暁文・田井浩人
2. 発表標題 自治体における新型コロナ対応 - 問われる自治の力
3. 学会等名 日本地方政治学会・日本地域政治学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Taro Hirai
2. 発表標題 Open Innovation for Sustainable Agriculture and Rural Community in the Depopulation Age
3. 学会等名 Trilateral Cooperation Secretariat 10th Anniversary Symposium Vol.5 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 筒井一伸
2. 発表標題 農山村をつなぐ「継業」 - 「なりわい」を継ぐということ -
3. 学会等名 第35回自治体学会大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林 悠歩・中塚 雅也
2. 発表標題 農山村における外部人材の継続的な協働を促す働きかけ:福井県越前町熊谷区の事例から
3. 学会等名 第71回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 価値づけと地域 - 資本主義の変化を踏まえて -
3. 学会等名 日本地域経済学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 アクションリサーチはどこから来てどこへ行くのか
3. 学会等名 村落研究学会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Masayuki Nitta, Mitsuru Ohira, Muneyuki Aoki, Masahiro Nakajima
2. 発表標題 Evaluating aquatic habitats of an agricultural waterway network improved for recreational use of local residents
3. 学会等名 13th international conference on environmental and rural development（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 「資本主義の新たな精神」と「豊穰化の経済」...そしてEVERY DENIM
3. 学会等名 まちなか大学トークセミナー（愛媛大学）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 「豊穰化の経済」における地場産業製品への価値の再付与
3. 学会等名 進化経済学会静岡大会・オータムカンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中村怜詞・宮地忠幸・久保田豊和・中島正裕・菊池雅彦・中川秀一・中塚雅也・筒井一伸
2. 発表標題 地元人材育成からの地方創生
3. 学会等名 農村計画学会2020年度特別シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 谷川 智穂・中塚 雅也
2. 発表標題 農山村における移住者起業の集積要因と構造：丹波篠山市福住地区を事例として
3. 学会等名 第70回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 関係人口とは何か
3. 学会等名 日本都市学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中塚雅也・谷川智穂
2. 発表標題 中山間地域における起業促進の支援システム：岡山県西粟倉村を事例として
3. 学会等名 農村計画学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 ワークショップにおける「参加の実質化」をめぐる
3. 学会等名 農村計画学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sae Shinzato, Masahiro Nakajima
2. 発表標題 Place Attachment in the Era of Mobilities -What makes a place meaningful?-
3. 学会等名 CRE PRG Symposium (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 ポスト・コロナ社会における農村の持続性
3. 学会等名 日本農業経済学会2021年度大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中川秀一
2. 発表標題 田園回帰とコモンス化からみた入会林野の位相
3. 学会等名 第11回 東日本入会山村研究会研究大会 高崎経済大学（群馬県）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川秀一
2. 発表標題 再編過程にある林業の地域構造について 林業成長産業化と地域森林管理
3. 学会等名 2019年度経済地理学会関西支部2月例会，奈良大学（奈良県）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 嶋田暁文
2. 発表標題 不確実性と合意形成 大湊村における理と利と感情の対立
3. 学会等名 日本政治学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴崎浩平，中塚雅也，内平隆之，星野敏
2. 発表標題 ため池管理における技能とその継承方法?水入れ作業に着目して?
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木原奈穂子・中塚雅也
2. 発表標題 集落における畦畔管理請負の組織づくりと人材育成
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 谷川智穂・中塚雅也
2. 発表標題 農村移住者による起業の空間的特徴と影響要因
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中塚雅也
2. 発表標題 地方社会における日本人IJU者との共生
3. 学会等名 共生社会システム学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wang SHUAL, Masaya NAKATSUKA, Shinji TAKADA
2. 発表標題 Rural Business Incubator for College Student Village Official in China
3. 学会等名 農村計画学会2019年度春期大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 立見淳哉・長尾謙吉
2. 発表標題 認知資本主義と地域経済
3. 学会等名 日本地域経済学会関東支部研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 田園回帰と「もう一つの」経済
3. 学会等名 Rural Learning Network 第28回セミナー：“田園回帰”の経済性：農村での生活が生み出す価値とは？（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 合評会：立見淳哉『産業集積と制度の地理学 - 経済調整と価値づけの装置を考える - 』ナカニシヤ出版」
3. 学会等名 進化経済学会「制度と統治」部会 & 「現代日本の経済制度」部会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 立見淳哉
2. 発表標題 田園回帰と「もう一つの経済」 豊穡化の経済，連帯経済との接点を探る
3. 学会等名 日本地域経済学会第31回京都大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TATEMI, J. and YAMAMOTO, T.
2. 発表標題 Intermediaries and design: Valuation process of the local products in Japan
3. 学会等名 International conference of AFEP-IIPPE (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 TATEMI, J.
2. 発表標題 Intermediary and Design: Valuation process of Local Products in Japan
3. 学会等名 EGOS(European Group for Organizational Studies)and Organization Studies Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平井太郎
2. 発表標題 現代日本農村でのワークショップの可能性
3. 学会等名 日本社会学会第92回大会テーマセッション (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirai, Taro
2. 発表標題 Current Policy of Japan for Rural Revitalisation
3. 学会等名 International Poverty Reduction Center of China Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hirai, Taro
2. 発表標題 Current Discussion on the Basic Plan of Food, Agriculture and Rural Area in Japan
3. 学会等名 China Agriculture University Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 萩原良樹, 竹内紗恵, 中島正裕
2. 発表標題 地域おこし協力隊員間の連携が任期中の活動に及ぼす影響 勤務形態の違いに着目して
3. 学会等名 農村計画学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 萩原 良樹・竹内 紗恵・中島 正裕
2. 発表標題 地域おこし協力隊員のインフォーマルな関係と隊員間連携が活動プロセスに与える影響
3. 学会等名 農村計画学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中島正裕
2. 発表標題 集落コミュニティ活性化のために ～基礎調査から見えてきたもの～ 甲良町まちづくりフォーラム
3. 学会等名 甲良町まちづくりフォーラム
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計35件

1. 著者名 木原奈穂子著・筒井一伸監修	4. 発行年 2023年
2. 出版社 今井出版	5. 総ページ数 60
3. 書名 農村地域の仕事と働き方 「らしさ」を活かす働き方の最前線	

1. 著者名 宮田正旭	4. 発行年 2023年
2. 出版社 公職研	5. 総ページ数 184
3. 書名 ゼロから自治体を創ったらどうなるか？	

1. 著者名 荒又 美陽、明治大学地理学教室	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 312
3. 書名 東京の批判地誌学	

1. 著者名 中国山地編集舎編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中国山地編集舎	5. 総ページ数 180
3. 書名 みんなでつくる中国山地2022生業号	

1. 著者名 廣政幸生	4. 発行年 2022年
2. 出版社 日本経済評論社	5. 総ページ数 280
3. 書名 持続可能性と環境・食・農	

1. 著者名 小林 みずき、関司 直也	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 64
3. 書名 農村における農的な暮らし再出発	

1. 著者名 Taisuke Miyauchi, Mayumi Fukunaga	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 356
3. 書名 Adaptive Participatory Environmental Governance in Japan	

1. 著者名 山浦陽一、筒井一伸	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 62
3. 書名 地域福祉における地域運営組織との連携	

1. 著者名 中塚 雅也、山下 良平、斎尾 直子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 農村計画研究レビュー2022	

1. 著者名 平井 太郎、松尾 浩一郎、山口 恵子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 266
3. 書名 地域・都市の社会学	

1. 著者名 立見 淳哉、長尾 謙吉、三浦 純一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 266
3. 書名 社会連帯経済と都市	

1. 著者名 『農業と経済』編集委員会、秋津元輝、池上甲一、久野秀二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 英明企画編集	5. 総ページ数 320
3. 書名 季刊『農業と経済』2021年夏号	

1. 著者名 農文協	4. 発行年 2021年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 136
3. 書名 どう考える? 「みどりの食料システム戦略」	

1. 著者名 漆原 和子、藤塚 吉浩、松山 洋、大西 宏治	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 224
3. 書名 図説 世界の地域問題 100	

1. 著者名 小田切 徳美	4. 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 254
3. 書名 新しい地域をつくる	

1. 著者名 岡本 耕平、阿部 康久、土屋 純、山元 貴継	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 230
3. 書名 論文から学ぶ地域調査	

1. 著者名 平井太郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 224
3. 書名 地域でアクションリサーチ	

1. 著者名 平井 太郎、北原 啓司、小岩 直人、福田 覚、今田 匡彦、佐々木 純一郎、内山 大史、金目 哲郎、土井 良浩、杉山 祐子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 弘前大学出版会	5. 総ページ数 190
3. 書名 SDGsを足許から考えかたちにする	

1. 著者名 中塚雅也、山浦陽一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 276
3. 書名 地域人材を育てる手法	

1. 著者名 原島 良成	4. 発行年 2020年
2. 出版社 第一法規	5. 総ページ数 336
3. 書名 自治立法権の再発見 北村喜宣先生還暦記念論文集	

1. 著者名 ジョニー・シーガー、中澤 高志、大城 直樹、荒又 美陽、中川 秀一、三浦 尚子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 216
3. 書名 女性の世界地図	

1. 著者名 大杉立他24名	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本学術協力財団	5. 総ページ数 289
3. 書名 日本の食卓の将来と食料生産の強靱化について考える	

1. 著者名 筒井 一伸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 田園回帰がひらく新しい都市農山村関係	

1. 著者名 小林 悠歩、筒井 一伸、中川 玄洋	4. 発行年 2021年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 135
3. 書名 若者を地域の仲間にも！秘訣をつかむハンドブック	

1. 著者名 長曾我部まどか、筒井一伸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 今井出版	5. 総ページ数 72
3. 書名 みんなでつくるまちづくりワークショップファシリテーションの「かきくけこ」	

1. 著者名 小田切徳美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 農山漁村文化協会	5. 総ページ数 320
3. 書名 農村政策の変貌	

1. 著者名 田代 洋一、田畑 保、田代 洋一、田畑 保、磯田 宏、久野 秀二、安藤 光義、小田切 徳美、坂下 明彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 323
3. 書名 食料・農業・農村の政策課題	

1. 著者名 社会文化学会	4. 発行年 2020年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 144
3. 書名 学生と市民のための社会文化研究ハンドブック	

1. 著者名 大曾根 寛、森田慎二郎、金川めぐみ、小西啓文	4. 発行年 2019年
2. 出版社 成文堂	5. 総ページ数 720
3. 書名 福祉社会へのアプローチ	

1. 著者名 伊藤 正次	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 238
3. 書名 多機関連携の行政学	

1. 著者名 日本地方自治学会	4. 発行年 2020年
2. 出版社 敬文堂	5. 総ページ数 252
3. 書名 自治の現場と課題	

1. 著者名 小田切 徳美、平井 太郎、関司 直也、筒井 一伸、尾原 浩子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 79
3. 書名 プロセス重視の地方創生	

1. 著者名 家中 茂、藤井 正、小野 達也、山下 博樹	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 304
3. 書名 新版 地域政策入門	

1. 著者名 関司直也、筒井一伸	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑波書房	5. 総ページ数 60
3. 書名 就村からなりわい就農へ	

1. 著者名 弘前大学人文社会科学部、羽淵一代	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 272
3. 書名 大学的青森ガイド	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中川 秀一 (Nakagawa Syuichi) (00298415)	明治大学・商学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	嶋田 暁文 (Shimada Akifumi) (00380650)	九州大学・法学研究院・教授 (17102)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	橋口 卓也 (Hashiguchi Takuya) (40282701)	明治大学・農学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	中塚 雅也 (Nakatsuka Masaya) (40432562)	神戸大学・農学研究科・教授 (14501)	
研究分担者	筒井 一伸 (Tutsui Kazunobu) (50379616)	鳥取大学・地域学部・教授 (15101)	
研究分担者	立見 淳哉 (Tatemi Junya) (50422762)	大阪市立大学・大学院経営学研究科・教授 (24402)	
研究分担者	図司 直也 (Zushi Naoya) (60442563)	法政大学・現代福祉学部・教授 (32675)	
研究分担者	平井 太郎 (Hirai Taro) (70573559)	弘前大学・大学院地域社会研究科・准教授 (11101)	
研究分担者	中島 正裕 (Nakazima Masahiro) (80436675)	東京農工大学・(連合)農学研究科(研究院)・教授 (12605)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	ディリー ルーク (DILLEY Luke)	国際教養大学・国際教養学部・助教 (21402)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関